



ニュースレター限定 社長コラム

『経営計画発表会』

代表取締役 近藤 千奈美

今年も5月初旬に、全社員が一堂に会する経営計画発表会を開催しました。

経営計画書を毎年作成し直して社員へ発表するこの日を、とても神聖で特別な想いで迎えます。

数字とその数字を達成するための方針を共有し、コンテックスが「どこへ向かうのか」「なぜそれを目指すのか」を、みんなで確認し合う大切な時間だからです。

企業は船、社員はクルー、そして経営計画は航海図。目的地と航路を明確にすることで、一人ひとりが自分の役割を理解し、同じ方向を向いて進むことができます。現実には荒波ばかりの航路かもしれません。逸れても航海図があれば建て直せます。

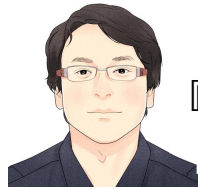
普段は各拠点で頑張っている仲間たちが顔を合わせ、コミュニケーションできるのもこの会の醍醐味。変化の激しい時代だからこそ、私たちの軸を確認し、お客様に価値を提供し続けるために全社一丸で結束を図るのです。

新緑美しい季節、清々しいスタートを切りました。お客様からのご支援がいただけるよう活動をしてまいります。

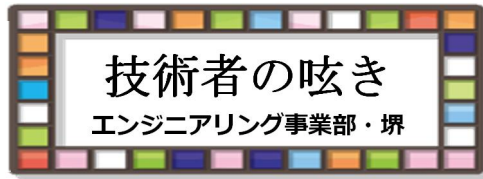


フラワームーンに照らされて





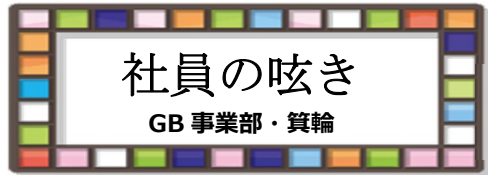
『散歩：公園』



技術者の眩き

エンジニアリング事業部・堺

今日は晴れていて散歩日和です。
公園まで行きましたが青空が広がって気持ちが良いです。
喫茶店の外にあるテーブルでコーヒーを飲みながら景色を楽しみます。
もうすっかり桜も散り、緑の葉がいっぱいになっていました。それに犬の散歩が多く、寝転んでいる犬がかわいいです。
ついでに美術館にも寄り次の目的地へ歩いていきます。
新しいお店が開いていないか町中を探索しにいきます。
「あっ！またラーメン店が新規に、今度食べに行こう」
楽しみが増えました。



社員の眩き

GB事業部・箕輪

『ジャズ喫茶』



先日、町田にある老舗ジャズ喫茶「NOISE」を訪れました。
1980年に下北沢の名店の2号店として町田ジョルナにオープンし、一度閉店を経験しながらも場所を移して愛され続けているお店です。歴史を重ねた空間には、ジャズの調べとともに多くの人々の思い出が染み付いているような、特別な雰囲気漂っていました。
ランチでいただいたチキンロースト・ソースクリームは絶品でした。濃厚でありながら上品なカレークリームソースがチキンと絶妙にマッチして、一口ごとに幸せが広がりました。



ニュースレター限定 営業マンのコラム

『AIの信頼性』

グローバルビジネス事業部 後藤 (Mr.ベースマン)



最近のマイブームの続編です。

AIにできないことがわかりました。それは「選択の判断」です。

ユーザーのニーズを聞いて、その回答の候補を提示しますが、選択の判断はユーザーに委ねられます。AIが判断をしないのはプログラムされていないからで、大元のプログラムには必ずプログラマーのバイアスがかかっていることもわかりました。つまり、AIが判断することはプログラマーの考え方を推奨することになるというわけです。

AIならば、いつか完全な平等を実現できるかもしれないと思いますが、まだ閻魔様にはなれないようです。神は気まぐれなのか？神はサイコロを振らないのか？どちらも共存する量子世界はヒントになりそうですね。

AIが思考のジャンプをするにはプログラムに「何故？」を問いかける必要があります。言われたことを効率よくやるところまではできるかもしれない。しかし、その目的の正当性、可能性を鑑みてより良いと思われる方法で行動する、というところまでいかないと、人類には追い付けないでしょう。(最近の人類はAI任せであまり考えなくなっているようですが・・・笑)



翻訳 Q&A



Q: 英語のスポーツ実況で登場する日常でも使える英語表現を知りたいです



A. 英語の実況でよく耳にする、スポーツ以外の場面でも見えそうな便利な表現をいくつか紹介します。

back to back 「連続の、背中合わせの」という意味で、二者連続ホームランを“back to back homerun”と言い、三者連続の場合“back to back to back homerun”と言うことができます。

スポーツ以外でも“consecutive (連続して)”を“back to back”に言い換えるとよりカジュアルな表現になります。

momentum 多くのスポーツで耳にする、得点できそうな雰囲気や勝てそうな雰囲気を表すいわゆる「流れ」や「勢い」にあたる表現です。シーソーゲームになっていることを“Momentum swings in the game.”と表現できます。

“Build up momentum (勢いをつける)”というフレーズはビジネスの場などでも自然に見えそうですね。

out of a jam 「ピンチをしのごく」という意味で、相手の攻撃を耐えた際などによく登場します。

この場合の“jam”は「困難な状況」や「窮地」を表します。

insurance run 「ダメ押し点」を指します。

直訳すると「保険の得点」となり、勝利を確実にするような追加点というニュアンスがあります。

昨今は様々な媒体で英語実況に触れられる機会が増えてきました。たくさんの英語を聞くことは英語の上達においてとても重要です。皆さんも好きなスポーツを英語音声で楽しんでみてはいかがでしょうか。



HP にバックナンバーが掲載されています♪